

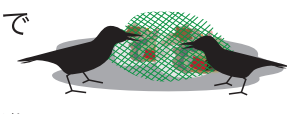


2 まちの美化の推進 2,240万円

ごみの散乱の防止や不法投棄ごみ対策に関する事業を行っています。そのうちの一部を紹介します。

家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業

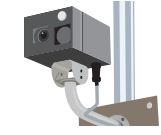
市が収集するごみ収集場所（概ね5世帯以上）ごとに、防鳥用ネットを無償で貸し出します。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL:075-213-4960

不法投棄監視カメラ等の貸出事業

常習的な不法投棄に悩む地域団体に対し、監視カメラを無償で貸し出します。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL:075-213-4960



3 地球温暖化対策 6億2,310万円

「京都議定書」誕生の地、環境モデル都市として様々な地球温暖化対策事業に取り組んでいます。そのうちの一部を紹介します。

すまいの創エネ・省エネ応援事業

戸建住宅、共同住宅や集会所に設備を設置する個人や管理組合、自治会に対し、設置費用の一部を助成します(システムの組み合わせにより、更に増額の場合あり)。

- ◆ 太陽光発電システム (1kW当たり2万円 最大4kWまで)
- ◆ 蓄電システム (1kWh当たり5万円 最大6kWhまで)
- ◆ 太陽熱利用システム (強制循環型 10万円、自然循環型 5万円)
- ◆ エネファーム (8万円)
- ◆ HEMS (家庭用エネルギーマネジメントシステム) (2万円)

【問合せ先】地球温暖化対策室 TEL:075-222-4555

「エコ学区」関連事業

環境学習会の開催や省エネ診断会の実施等、学区の状況に応じた多彩なプログラムを提供することにより、主体的なエコ活動を支援します。



【問合せ先】地球温暖化対策室 TEL:075-222-4555

より一層、有料化財源の使い道を知っていただけるよう、これからも分かりやすい広報に努めていきます！ 有料化財源を活用した事業のチラシやパンフレットには「目印のマーク」が掲載してあるよ。探してみてね。



目印のマークです



この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入を活用しています



美しい地球を次世代に引き継ぐため、これからも有料化財源を有効活用していきます！

環境政策局ごみ減量推進課 TEL 075-213-4930
<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000016745.html>

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！





ご存知ですか？ 家庭ごみ 有料指定袋制のこと

平成29年9月

市民の皆様のご理解・ご協力により、家庭からのごみの量は、平成18年度に家庭ごみ有料指定袋制を導入して以降、導入前の4分の3まで減りました。

その結果、京都市の市民1人1日当たりの家庭からのごみ量は、417gと政令市で最も少ない量（他の政令市平均570g）となっています。※1 ありがとうございます。

皆様にご負担いただいた、有料指定袋の販売収入額（年間約18億円）は、全額をごみ処理コスト（年間213億円）に充当し、その結果節減することができた一般財源の相当額を「有料化財源」と位置付け、「ごみの減量・リサイクルの推進」、「まちの美化の推進」、「地球温暖化対策」に資する事業の財源として活用しています。

より一層のごみ減量に向け、ご協力をお願いします。

※1：平成27年度 環境省一般廃棄物処理事業実態調査より

家庭ごみ有料指定袋でもCO₂削減！！

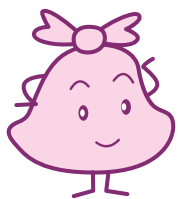
～バイオマスポリエチレンの活用～

平成29年度の試行実施を踏まえ、バイオマスポリエチレン※2を10%活用した有料指定袋の本格的な製造を検討しています。

※2：食べることのできないサトウキビの芯などから生成されたポリエチレンのこと



この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入を活用しています



家庭ごみ有料指定袋制は、 ごみ減量・リサイクルの推進を目的としています！

●ごみの減量により、クリーンセンター（清掃工場）は、かつての5工場から3工場にまで減らすことができました。

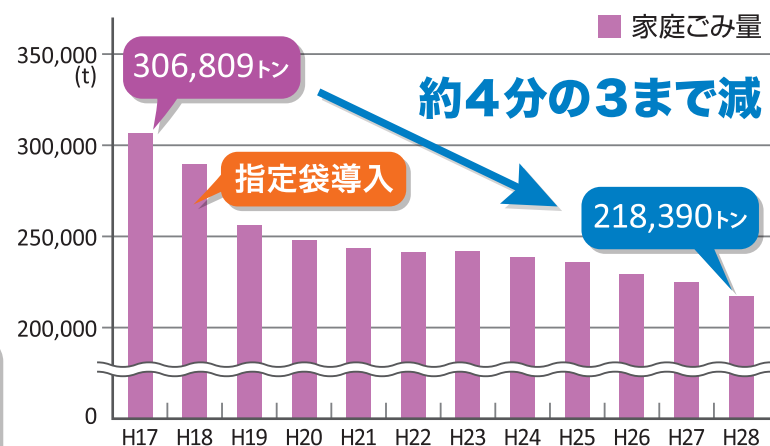
●また、ごみ処理にかかる費用も大幅に削減できました。

削減効果

■クリーンセンターの建替経費
約400億円×2工場分＝△約800億円

■クリーンセンターの年間運営費
約10億円×2工場分＝△約20億円/年

■年間のごみ処理コスト（平成14年度→平成28年度）
△約154億円/年



ごみを減らすことで、地球温暖化の原因となる温室効果ガス（CO₂など）排出量が減少し、低炭素社会の実現にもつながります。また、京都市唯一の埋立処分場をできるだけ長く活用していくことにもつながります。

●しかし、ごみの処理には、年間213億円もの巨額の費用がかかります。（平成28年度）

45リットルごみ袋（燃やすごみ）1袋当たりの処理経費：244円

●クリーンセンターをより長く使っていくためには、定期的なメンテナンスと、約20年間使用した後には、大規模な改修が必要です。

●そのときには、**市全体のごみを2工場で処理しなければなりません。**

●そのため、ごみの減量を加速させ、**現在の年間42万トンから39万トンまで削減する必要があります。**

●**資源・エネルギーの有効利用・環境負荷の低減、ごみ処理コストの最小化に向けて、より一層の減量にご協力をお願いします。**

有料化財源として、皆様に身近で環境にやさしい事業へ活用する額は、

16億2,720万円（平成29年度予算）

有料指定袋の販売収入額17億7,310万円＋京都市民環境ファンド※取り崩し4億2,310万円－有料指定袋の製造経費等5億6,900万円

これを次の3つの分野の事業に活用するとともに、南部クリーンセンター第二工場（仮称）建替に伴う環境学習施設の整備に2億7,700万円を活用しています。

また、中長期的な事業に役立てるため「京都市民環境ファンド」に7,000万円を積み立てます。※環境共生社会の実現に向けて創設された基金です。

具体的な3つの分野の事業について
見てみよう！



1 ごみ減量・リサイクルの推進 6億3,470万円

個人やグループ単位でごみ減量・リサイクルに取り組んでいただく事業を行っています。そのうちの一部を紹介します。

食品ロス削減等の推進

●地域学習会「しまつのこころ楽考（がっこう）」（平成29年6月～）

食品ロスの削減をはじめとしたごみ減量への理解と実践を呼び掛ける啓発活動として、「ごみ減量について楽しく考えよう」をコンセプトにした学習会を各地で開催しています。



●フードバンク活動等の支援
フードバンク活動やフードドライブの実施など、食品ロス削減に取り組む団体に対して、事業の実施に必要な経費の一部を助成しています。



【問合せ先】ごみ減量推進課 TEL：075-213-4930

小型家電リサイクル事業

使用済小型家電を回収し、貴金属等の有用な資源のリサイクルを行っています。また、資源の循環、リサイクルの見える化として、小型家電から回収した「金」を100%使った京都マラソン2018の優勝メダルを制作します。



対象品目 高さ30cm×幅40cm×奥行40cm以内の電気・電池で動く製品とその付属品（例：携帯電話、デジタルカメラ、炊飯器、電動工具、ゲーム機、トースターなど）
※ただし家電4品目（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機）、パソコン、石油・灯油ストーブを除く。

回収場所 区役所・支所等、駅、民間施設 ※詳細はホームページ等で確認してください。

【問合せ先】ごみ減量推進課 TEL：075-213-4930

資源物の拠点回収

●資源物回収拠点：区役所・支所、まち美化事務所、上京リサイクルステーションなどの拠点で回収します。

●移動式拠点回収：まち美化事務所が皆様の身近な場所（公園・学校など）に出向き回収します。

対象品目 古紙類、古着類、使用済てんぷら油、蛍光管、小型家電などの資源物

【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960



せん定枝の分別・リサイクル推進事業（平成28年10月～モデル実施）

家庭から出るせん定枝の分別排出の機会を拡大し、リサイクルを推進します。

対象品目 枝葉、落ち葉

収集方法 月1回、資源ごみ収集場所に出してください。

※詳細はチラシやホームページ等で確認してください。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960

地域で資源物を回収する コミュニティ回収事業

古紙類（新聞・雑がみなど）、古着類などの資源物を回収する地域の皆様の主体的な取組に対し、助成します。

【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960



京都市ごみ半減・ここみアプリ

2R※行動や資源分別に役立つスマートフォンアプリを配信しています。

※ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）

【問合せ先】ごみ減量推進課 TEL：075-213-4930



使用済てんぷら油の市民回収奨励事業

市民の皆様による使用済てんぷら油の回収実施に対し、助成します。

【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960

環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」

ごみ処理・再資源化施設を見学するバスツアーを開催します。

【問合せ先】ごみ減量推進課 TEL：075-213-4930

